



Data	2023-33
監督・脚本:	ダニエル・クワン/ダニエル・シャイナート
製作:	ジョー・ルッソ/アンソニー・ルッソ
出演:	ミシェル・ヨー/ステファニー・スー/キー・ホイ・クァン/ジェームズ・ホン/ジェイミー・リー・カーティス/タリー・メデル/ジェニー・スレイド/ハリー・シャム・Jr

👁️👁️ みどころ

この長ったらしいタイトルは一体ナニ？略して『エブエブ』の意味は、「あらゆることが、あらゆる場所で、いっぺんに」。そして、そのキーワードはマルチバース（多元宇宙）。そう言われても、“メタバース”をやっと理解した70代のじいさんには、そんな“奇想天外”“ぶっ飛んだ内容”の理解はムリ。“トンデモ脚本”も“〇〇宇宙”も“△△世界”も理解不能！そう思いつつ鑑賞してみると・・・。

アカデミー賞最多10部門11ノミネートの本作は、作品、監督、脚本の他、主演女優、助演男優、助演女優等7部門をゲットしたからすごい。もっとも、アジサイの七変化、大和撫子七変化ならぬ、ミシェル・ヨー扮するヒロインの“84変化”を観て、楽しさワクワク？それともバカバカさにうんざり？

———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ———— * ————

■□■略して“エブエブ”が大ヒット！このタイトルはナニ？■□■

私が高校3年生の時にハマった映画が、『ドレミの歌』や『エーデルワイス』等で有名な『サウンド・オブ・ミュージック』（65年）。同作に主演したジュリーアンドリュースの次回作として、私が続いて観たのが『メリー・ポピンズ』（64年）だが、そこでは“supercalifragilisticexpialidocious”（スーパーカリフラジスティックエクスピアリドーシャス）という、“世界一長い言葉”をテーマにした曲があった。

それと同じように、本作の邦題『エブリシング・エブリウェア・オール・アット・ワンス』は、原題英語の「Everything Everywhere All at Once」をそのままカタカナにしたものだが、ひょっとしてこれは世界中で1番長いタイトル・・・？ではないだろうが、こんな長ったらしい英題をそのままカタカナで邦題にしてしまうのは、あまりに横着すぎるのでは？そう思われるが、英題の『Everything Everywhere All at Once』とは一体ナニ？そ

れは、直訳すれば「あらゆることが、あらゆる場所で、いっぺんに」だが、その意味は一体ナニ？

■□■マルチバース（多元宇宙）がキーワード！その意味は？■□■

本作のパンフレットには、次の4本のレビューがある。すなわち、

①町山智浩氏（映画評論家）の「マルチバースとニヒリズム、そして親切」

②大森望氏（書評家、翻訳家）の「SFの世界で昔から描かれてきた並行宇宙に独特のアイデアを加えたアクションコメディ」

③稲垣貴俊氏（ライター／編集者）の『『エブエブ』元ネタの宇宙を旅する』

④傭兵ペンギン氏（ライター／翻訳者）の「多元宇宙の可能性を広げてみせた傑作」

このように、上記4本のレビューは、タイトルだけでも、「マルチバース」「並行宇宙」「多元宇宙」の文字が躍っているし、本文中ではさらに、「マルチバース（多元宇宙、平行宇宙）」「量子力学の多世界解釈」「パラレルワールド（並行世界）」「アルファバース」「バース・ジャンプのジャンプ台」「マルチバース大戦」等の文字が躍っている。しかして、本作はなぜこんなテーマで4本のレビューが収録されているの？

■□■監督は？脚本は？プロデューサーは？■□■

本作の脚本を書き監督したのは、1988年生まれのダニエル・クワンと1987年生まれのダニエル・シャイナート。この2人はダニエルズというニックネームで呼ばれている映画監督コンビだが、私は全く知らなかった。それはきっと、「多数のミュージックビデオ、CM、短編映画に始まり、18年以上もの間、映画やTV番組の脚本・監督を手がけてきた。一見ばかげた話に、心温まるパーソナルなストーリーを取り入れたスタイルで評価を高め、ユニークな視覚効果や特殊技術を用いることで、ジャンルにとらわれない作品を制作している」とパンフレットで紹介されているが、その方面に私が疎いためだろう。他方、パンフレットにあるプロダクション・ノートには、「どんな映画なのか説明を求められると、今でもうまく答えられません（笑）」の見出しで、本作誕生のすべてが語られているので、これは必読！

このような本作の奇想天外 MAX のトンデモ脚本に惚れ込み、プロデューサーに名乗り出たのが、1970年生まれのアンソニー・ルッソと1971年生まれのジョー・ルッソのルッソ兄弟。私はアメコミが嫌いなので『アベンジャーズ』シリーズは敬遠しているが、その完結編『アベンジャーズ／インフィニティ・ウォー』（18年）、『アベンジャーズ／エンドゲーム』（19年）を監督したのが、ルッソ兄弟だが、この兄弟も私は全く知らなかった。

■□■主演女優は？助演男優は？2人の助演女優は？■□■

本作は前述したとおりのマルチバース、多元宇宙モノであると同時に、ブルース・リーやジャッキー・チェンの系譜に通じるカンフー映画。すると、そんな本作の主演を張る女優はマレーシア生まれのミシェル・ヨーしかいない。彼女はジャッキー・チェン主演の

『ポリス・ストーリー3』（92年）などで香港を代表するアクションスターとなり、『007／トゥモロー・ネバー・ダイ』（97年）でハリウッドデビューを果たしている。私が強く印象に残っているのは、『宗家の三姉妹』（97年）、『グリーン・デスティニー』（00年）と『SAYURI』（05年）（『シネマ9』59頁）だ。とりわけ『グリーン・デスティニー』ではチャン・ツイーとのカンフー対決が見ものだった。

そんな彼女は1962年生まれだから、御年ちょうど60歳。本作冒頭、家族で経営しているコインランドリーの中でイライラしているミシェル・ヨー演じるエヴリンの姿を見ると、かなり“ふけ顔”のやつれた“おばさん風”。さあ、本作はここからどんなトンデモ脚本になっていくの？

本作のストーリーは父親のゴンゴン（ジェームズ・ホン）の誕生会と春節のお祝いを兼ねたパーティーの準備で朝から大忙しなのに、コインランドリーに監査が入り、国税庁に出向かなければならない、という状況設定から始まる。エヴリンがイライラしているのはそのためだが、もう一つのイライラの理由は優柔不断な夫のウェイモンド・ワン（キー・ホイ・クエン）が全く頼りにならないためだ。ところが、そんな頼りない夫がストーリー展開の中では、別の宇宙で別の人生を歩んでいるというウェイモンドに何度も変身し、「全宇宙にカオスをもたらそうとしている強大な悪ジョブ・トゥバキを倒せるのはエヴリンだけだ」とハッパをかけるので、そんなウェイモンドに注目！

他方、中国からアメリカへ移住して何年も経つものの、税金の専門用語は英語ではさっぱりわからないエヴリンのために、娘のジョイ（ステファニー・スー）が通訳を務めるはずだったが、国税局に出向かなければならないという肝心の日に、ジョイは恋人のベッキー・スリガー（タリー・メデル）を連れてきたから、アレレ。これでは、エヴリンのイライラに輪をかけること確実だ。そして、エヴリンが提出した控除の申請書類の不備を指摘し、「これは経費にならないでしょう」と、とことんエヴリンを絞り上げるのが、ジェイミー・リー・カーティス演じる国税局の監査官ディアドラ・ボーベアドラだ。

本作ではミシェル・ヨーの他、キー・ホイ・クエンが助演男優賞に、ジェイミー・リー・カーティスとステファニー・スーが助演女優賞を全てゲットしたからすごい。主演のミシェル・ヨーの他、この3人の助演者の演技力に注目！

■作品、監督、脚本、主演女優等、最多7部門を受賞！■

本作を鑑賞した翌日は、2023年の第95回アカデミー賞発表の日。そこで最も注目されていたのは、作品賞、監督賞、脚本賞、主演女優賞、助演男優賞、助演女優賞等、最多10部門で11ノミネートされていた本作が、どの賞をどの程度ゲットするか、それともしないのか、だった。作品賞の対抗馬とされていたのは、『トップガン マーヴェリック』『イニシエリン島の精霊』『フェイブルマンズ』『エルヴィス』『アバター：ウェイ・オブ・ウォーター』『逆転のトライアングル』等の9作品だし、各種個人賞についても、対抗馬は多い。そんな注目の中、『エプエブ』は、作品賞の他、ダニエル兄弟が監督賞と脚本賞を、

ミシェル・ヨーが主演女優賞を、キー・ホイ・クァンが助演男優賞を、ジェイミー・リー・カーティスが助演女優賞を受賞する等、計7部門を受賞したからすごい。

計7部門受賞は、今世紀に入って、①11部門を受賞した『ロード・オブ・ザ・リング／王の帰還』（03年）（『シネマ4』44頁）、②8部門を受賞した『スラムドッグ\$ミリオネア』（08年）（『シネマ22』29頁）に続くものだ。また、監督賞と脚本賞を含め主要部門をこれほど総ざらいしたのは久しぶりだ。60歳のミシェル・ヨーの受賞式でのスピーチは、「女性の皆さん、『もう旬を過ぎた』と誰にも言わせないでください」というものだったが、あなたはそれをどう受け止める？

■□■ トンデモ脚本にみる“強大な悪”は？ ■□■

マルチバースはもとより、メタバースの概念すらよくわからなかった私には、本作のような映画は苦手。そのため、キアヌ・リーブス主演で大ヒットした、『マトリックス』シリーズ（99年、03年、21年）にも、私はあまり興味を持てなかった。私が“ワープ”という言葉や概念をはじめて知ったのは、子供の頃に SF ドラマ『スタートレック』を観ていた時。

それが本作では、国税局の監査官ディアドラにトコトン絞られている最中、いつの間にか気が遠くなってしまったエヴリンが、用具室に“ワープしてしまう”という形で登場する。そこで、別の宇宙で別の人生を歩んでいるというウェイモンドが乗り移った夫から、「全宇宙にカオスをもたらそうとしている強大な敵ジョブ・トゥパキを倒せるのはエヴリンだけだ」と、ハッパをかけられたところから、エヴリンと巨大悪ジョブ・トゥパキとの“対決”が始まることになる。しかし、なんじゃ、そりゃ？？そもそも、巨大悪ジョブ・トゥパキとは、一体ナニ？

■□■ アルファバース？バース・ジャンプ？ディアドラ？ ■□■

導入部で見たエヴリンの夫ウェイモンドは全く頼りにならない男だったが、エヴリンにハッパをかける別の宇宙で別の人生を歩んでいる男ウェイモンドは、力強い男。今は“アルファバース”に住んでいるというそのウェイモンドは、エヴリンに対して強大な敵ジョブ・トゥパキと闘う術を伝授しようとしたが、異次元の自分とリンクし、別の自分が持つ技能にアクセスするためには、“バース・ジャンプ”することが必要らしい。また、バース・ジャンプするためには、“最強の変な行動”が必要となるうえ、変な行動がバカバカしいほど、それが燃料となってジャンプを早く確実に成功させるらしい。

突然与えられたそんな使命がのみ込めず混乱するエヴリンに、別次元の悪の手先ジョブ・トゥパキに乗っ取られた“ディアドラ”が襲いかかってきたから、さあ大変だ。命の危険に晒されたエヴリンは、ギリギリのところできなバース・ジャンプし、カンフーの達人である別の宇宙のエヴリンにアクセスすることによって、ディアドラと対決したが、その勝敗は？

天下分け目の「関ヶ原の合戦」では、豊臣秀吉の養子からさらに毛利の大名・小早川隆

景の養子となった小早川秀秋が豊臣方（石田三成）を裏切り、大御所方（徳川家康）についたため、東軍の勝利に終わった。それに対して、エヴリンがディアドラに勝利できたのは、カンフーの達人である別の宇宙のエヴリンにアクセスすることができたためだが、そもそもアルファバースとは？バース・ジャンプとは？そして、ディアドラとは？

本作を腹の底から楽しむためには、そんなワケのわからない概念をしっかりと理解する必要がある。それはエヴリンも大変だが、観客も大変だ。ウェイモンドと結婚せず、山にこもってカンフーの特訓を受けた後、アクションスターとして華々しく日々を送っているミシェル・ヨー演じるエヴリンのカンフー姿はいつ見てもカッコいいが、スクリーン上に次々と登場してくる闘いのシーンはバカバカしいものばかり。その撮影手法の面白さはわかるものの、このトンデモ脚本とトンデモ演出は、ハッキリ好き嫌いが分かれそうだ。

■■■楽しさにワクワク？それともバカバカしさにうんざり？■■■

かつて一世を風靡したTV番組が、ザ・ドリフターズの『8時だヨ！全員集合』。1969年～71年及び71年～85年までの2期にわたって、毎週土曜日に放送されたこの番組は人気絶大だったが、他方で“俗悪番組”との批判も呼んだ。それと同じように（？）、本作については、“トンデモ脚本”、“キテレツな快作”、“奇想天外というより、まさにぶっ飛んだ内容”等々の“きわどい”評価が並んでいる。

“この宇宙”のエヴリンはコインランドリーのおばさんだが、“別の宇宙”のエヴリンは、①看板をまわしてビザ屋の宣伝をしている世界、②腕のいい鉄板焼きのシェフになっている世界、③歌手になっている世界、等々で大活躍！そんな世界でのエヴリンの活躍はそれなりに面白いし、エヴリンの姿もそれなりに美しい。しかし、④人間の指がソーセージになった世界、⑤エヴリンとジョイが人形の世界、⑥エヴリンとジョイが岩になっている、生物が発生しなかった世界、等々はあまりにバカバカしすぎて笑うに笑えない。

しかして、パンフレットには、見開き1ページをさらに倍に広げて、 $3 \times 7 \times 4 = 84$ 通りに変化したエヴリンの顔が写っている。アジサイの七変化や大和撫子七変化、さらに怪人二十面相、等々は昔から有名だが、この“エヴリンの84変化”を見れば、楽しさにワクワク？それともバカバカしさにうんざり？

2023（令和5）年3月17日記

追記 第95回アカデミー賞7冠ゲットおめでとう！

本作は、第95回アカデミー賞で作品賞、監督賞、主演女優賞、助演女優賞、助演女優賞、脚本賞、編集賞、作曲賞、歌曲賞、衣装デザイン賞の10部門で11ノミネートされ、作品賞、監督賞、主演女優賞、助演男優賞、助演女優賞、脚本賞、編集賞の7部門で受賞した。おめでとう！

2023（令和5）年4月10日記

エブリシング・オール・アット・ワンス

U-NEXTにて配信中



© 2022 A24 Distribution, LLC. All Rights Reserved.

監督：ダニエル・クワン、
ダニエル・シャイナート
出演：ミシェル・ヨー、キー・
ホイ・クワン、ステファ・
ニー・スー、ジェイミー・
リー・カーティス
原 題：Everything
Everywhere All at Once

配給：ギャガ
2022年/アメリカ
カ/140分



『メリー・ポピンズ』(64年)
には世界一長い言葉を手紙に
した曲があったが、『エ
ブリ』こそ『エブリシング・
エブリウェア・オール・ア
ット・ワンス』って一体なに？
デジタル化、AI化の中でも
真に間ガラーを奏用してい
たのは2年前にスマホでビ
ーを撮ったが、マルチパー
ス(多元宇宙)とは？パワ
ルワールド(逆行世界)とは？
それは子供時代に見たSFト
ラマ『スタートレック』にあ
ったヴァーヴという概念ら
しいが、さて？
ミシェル・ヨー(MY) 扮
するワウリンが国税庁の査察
で送られている中、別の宇宙
で別の人生を歩み別人に愛身
した頼りない夫から「全宇宙
にカオスをもたらす強大な敵
を倒さるのはお前だけだ」と
ハッパをかけられたところか
らワープし、大愛身！何じ
ゃ、それは！そこから見せ
るワウリンの七変化、太和撫
子七変化ならぬ、エブリン
の姿に注目！ダニエルズに

“エブリフ” が七冠をゲット！そのハチャメチャぶりに拍手！ —ミシェル・ヨーのアジア人初、60歳での主演女優賞に拍手！—

もちろん超天外MAXのトナリ
主脚本は難癖のテンコ盛り！
異次元の自分とリンクし別
自分が持つ技能にクセをす
るためには最強の姿な行動が
必要だが、カンフーの達人で
ある別の宇宙のエブリンにク
セしたのは大正解！それ
なら俺にもわかる。アカデ
ミー賞では作品賞・監督賞・
脚本賞を。更にMYが主演女
優賞を。助演女優賞と助演男
優賞も。60歳を迎えたMYは
「これは希望と可能性の印で
す。女性の皆さん、あなたも
もう盛りを過ぎた」なんと誰
にも言わせてはなりません」
と述べた。
将棋界・囲碁界では既にA
I(人工知能)が棋士を殲滅。
今やチャットGPTの利便性
と危険性が大問題となり、日
本では戦略会議が設置され
た。5月のG7広島サミット
は対面での会合だが、万一本
作のようなトンチキ脚本でサ
ミットが構想されたら？今
やそんな時代！それを本作
で再確認したい。

熱血弁護士 坂和章平 中国映画を語る(75)



(おなら・じぞくろ)
1949年生まれ、徳島県徳島市生まれ、
大阪大学法学部卒業。郵政
開発に携わる際、必死で多く手
がけ、日本郵政市面学会(石
川眞一、岡井正日本弁護士会
「坂和章平賞」を受賞。「坂和
的中国電影大賞」(2004年)
は2010のオースチン映画大賞
映画を扱う「ソニー」を主とする映画に関する書物多岐に
赴き、日本友好協会委員、ZHO(英大関係)日本友好協会理事。